

## ウォーターゲートソリティアシステム

VPJ Arponen作

バージョン：2020年1月30日

### <はじめに>

このソリティアシステムにより、人間のプレイヤーはニクソン陣営を担当し、システムによって制御される編集者陣営を相手にソロプレイをすることができます。以下のルールによって決定されない編集者陣営の決定は、ニクソンプレイヤーに委ねられます（プレイヤーにゲーム内のより多くのオプションと「ソロプレイの楽しみ」を提供します）。

### <ゲームの準備>

基本ゲームとまったく同じように準備します。ただし、次の点を変更します：

- ・ 調査トラックの編集者陣営の側の「1」スペースにイニシアチブトークンを置きます。各ラウンドの開始時の準備で同じようにします。
- ・ 編集者陣営の山札の近くの空いている場所を編集者陣営のカードエリアとします。

**準備フェイズ：**基本ゲームルールに従い、主導権を握っている陣営に応じて、編集者陣営の山札から4枚または5枚のカードを裏向きのまま編集者陣営に配って裏向きの小さな山札（ミニデッキ）とします。ニクソン陣営は、基本ゲームと同様に、バッグから3つの証拠トークンを引きまします。ゲーム中、証拠トークンを表向きに置き、トークンの向きを垂直/縦に変更することで、明らかにされた/隠された状態を示しても構いません。

**カードフェイズ：**基本ゲームのルールに従い、イニシアチブに従って各サイドが手番を実行します。それぞれのターン中、以下の編集者陣営の手番とニクソン陣営の手番の項目で詳しく説明されている追加のソリティアプレイルールに従います。

**編集者陣営の手番：**編集者陣営の各手番の開始時に、編集者陣営のミニデッキからカードを1枚公開します。以下に詳述するように、カードの種類に応じてカードを扱い、編集者陣営のカードエリアに縦向きに置きます。編集者陣営のカード置き場で縦向きに置かれているカードは、カードのアクションが未プレイであることを示します。

1. 最初に、カードのアクションを使用して情報提供者の支持を取り付けられる場合は、すぐにそれを実行します。ただし、残りのテキストのアクションは実行せず、カードをアクション済みにはしません。
2. 次に、情報提供者の支持が取り付けられたかどうかに関係なく、カードの数値パートの効果を以下のように適用します。カードに示された色の証拠トークンが（隠されているか明らかにされているかに関わらず）ある場合、一致する証拠トークンを1つ、示されたステップ数だけ編集者陣営の調査トラックの端に向かって移動させます。カードに示された色に一致する証拠トークンがない場合は、代わりに勢力トークンまたはイニシアチブトークンを移動します。トークンを移動させる際、編集者陣営側の調査トラックにないトークンを優先して動かします。該当するトークンがない場合は、ソリティアプレイヤーがどれを動かすか決定します。
3. 特定のカードを解決する手順については、以下の特別なカードプレイルールを参照してください。

**ニクソン陣営の手番：** ニクソンは基本ゲームのルールに以下のような変更を加えます。

- ・ ①ニクソン陣営がアクションのためにカードをプレイする場合、ニクソンプレイヤーは（アクションの前または後、ニクソンプレイヤーが選択します）、編集者陣営のカードエリアにあるすべての縦向きのカードの中から1枚を選択し、その効果を実行しなくてはなりません。リアクションカードを選択することはできません。選択したカードのアクションは編集者陣営に有利になるように実行します（たとえば、証拠を編集者陣営の側に移動するなど）。次に、アクションを実行したカードを横向きにします。これにより、そのカードのアクションがプレイされたことを示します。
- ・ 編集者陣営のカードエリアに未プレイのカードがない、またはカードがまったくない場合、編集者陣営の（ミニデッキではない方の）山札からランダムに1枚カードを引き、そのアクションを実行します。

**特別なカードプレイのルール：** 特定のニクソン陣営のカードと編集者陣営のカードには、次のような特別な規則が適用されます。

- ・ **(35) ベン・ブラッドリー：** このカードが引かれた場合、ニクソン陣営は直ちに共謀者カードを1枚、効果なしに捨てなければなりません（ニクソンプレイヤーが共謀者カードを持っている場合）。これによって共謀者が破棄された場合は、ベン・ブラッドリーのカードを横に向けてプレイ済みにします。その後、編集者陣営の手番を行います（ニクソン陣営ではありません）。
- ・ **(40) 集団デモ：** このリアクションカードが編集者陣営のカードエリアに置かれたら、ニクソン陣営は共謀者カードをアクション実行のためにプレイすることができなくなります。
- ・ **(42) 「金の流れを追え！」：** このカードが引かれた場合、その数値パートの処理を通常通り実行した後に編集者陣営のカードエリアに置きます。編集者は次の機会にカードのアクションを実行します（つまり、ニクソンが証拠を移動するためにその価値のある部分でカードをプレイすると、編集者は利益を得ます）。これが発生した後、カードに再生します。
- ・ **カードの廃棄：** 編集者陣営にカードを破棄させるニクソン陣営のカード（例：(11) チャールズ・コルソン）は、ニクソン陣営が編集者陣営のカードエリアにあるカード1枚をそのアクションの効果を実行することなくプレイ済みにできる効果に変更されます。
- ・ **トークンの除去：** 編集者陣営のカードで、証拠ボードから証拠トークンを除去するアクションをプレイするときは、支持を受けている情報提供者（表向きの情報提供者）に最も近いトークンの除去を優先します。その際、表向きの証拠トークンに隣接する証拠トークンの除去を優先します。その他の決定は、ニクソンプレイヤーに委ねられます。

**評価フェーズ：** 基本ゲームのルールに以下の変更を加えます。

- ・ **ソロプレイ特別ルールの適用：** 次のように、評価フェーズの最初にソロプレイ特別ルールを実行します。編集者陣営のカードエリアにある“プレイ済み”カードが1枚以下の場合、イニシアチブトークンまたは勢力トークンのいずれかを編集者の側に向かって未プレイのカード1枚ごとに1ステップずつ最大2ステップ移動させます。移動させるトークンは、まだ編集者側のリサーチトラックにないトークンを優先します。その他の決定は、ニクソンプレイヤーに委ねられます。
- ・ **編集者の証拠トークンの配置：** 可能であれば、編集者陣営が獲得した証拠トークンは以下のルールに従って証拠ボードに配置します。最も優先されるのは、ニクソンと支持を受けている（表向きの）情報提供者を結び付ける配置です。次に、既存の表向き証拠トークンがある場合

はそれに繋がるように配置します。これらが可能でない場合は、ニクソンの写真に繋がる場所に配置します。この場合は、ニクソンから（可能な限り指示を受けている）情報提供者に向けて外向きに継続的なつながりが形成されるように配置します。上記のすべてにおいて、最も短い距離で繋がることを優先し、最も多くの異なる色の空のスペースに隣接するスペースに配置することを優先します。その他の決定は、ニクソンプレイヤーに委ねられます。

- ・ **クリーンアップ**： 編集者陣営のカードエリアにあるすべてのプレイ済みのカードをゲームから除外し、未プレイのカードを捨て札にします。

**ゲーム終了と勝利**： 基本ゲームと同様に勝者を決定します。

**バリエーション**： 次のいずれかのバリエーションを適用することで、ソリティアシステムの難易度を上げることができます。

- ・ **(30) ディープスロート**： このカードが引かれた場合、すぐにその数値パートの処理を実行し、次にアクションパートも実行します。次に、このカードを編集者陣営のカードエリア領域に未プレイの状態で置きます。
- ・ **勢カトークン**： ゲームの準備と各ラウンドの開始時に、調査トラックの編集者側の「1」に勢カトークンを配置します。

訳者：COQ

The Board Game Laboratory - Rebooted!!

<https://tbgl-r.com>